左大將家百首歌合

特別
A4
1373
3

左大将家百首歌合

入4
1373
3
門人利生
巻 2止

青蓮院宮尊鎮親王 九大将家百首

左大将家歌合

一番　寄月恋

左　勝

なるさわし月もるくらきくもかくれ
ゆくへもしらぬきくるこころん

頼昭

右

月もるかたをそなかめしきくるかくれ
ゆくへもしらぬ恋のみちとは

隆信朝臣

右の方の寄月不逢恋中左方の月もるかやの
年ふるさとの又下白ぬるかな

判云左寄月もるかやの年ふるさとの侍もの
右の寄月もるくまもなき事歟
為勝

二番

左

いつく杜をうつ北人を心乃ふ給ふくみ今月とも

右　勝

百千鳥と倶くもつて杜の紅乃月おみつてへを待

右方　左の千春会左の羽やき

判ち杜春支方乃ト状ままもせく右の勝

三番

左　朽

時きつおきへ紅そのの月新そうよ

右

杜乃月いすものけきそひきそ

中宮権大夫　ふみつやと

右方　左のきく我にも取すみ

右方　左のへをのくを新そうと

季経卿

（作）へ

左方　左の千春会左の羽

右方　左の千春会左の羽

判ち杜春支方乃ト状ままもせく右の勝

三番

左

物ふと月おつて月おみ

右　勝

いつくも杜をうつ北人を心乃ふ給ふくみ今月とも

家隆

有家朝臣

左方　左の千春会左の羽

右方　左の千春会左の羽

判ち杜春支方乃ト状ままもせく右の勝

三番

左

物ふと月おつて月おみ

右　勝

いつくも杜をうつ北人を心乃ふ給ふくみ今月とも

家隆

有家朝臣

又番

右持　定家朝臣

右　信定

右方　判　右方　寄雲憲

七番

右

右勝

頭船

六番

右勝

女房

絶家

右

判　右方　寄雲憲

右方 月ゟさ憲関しす右方ゟつは
しつす判ゟ右とそ
ゟく也関都まと面ゟ称ゟそて
おちるへ一右滅つゟくめ〜称也
係ゟ〜脇てきや

八番

左

憲ゟれ心ゟそくさまゟ雲乃ゟ
右 脇

人ゟま思ゟ雨ゟ乃雲ゟ
ゟ右ゟくゟ判ゟ右そ上句
いくゟ乃ゟ下句つまて神の上と

李綱
栄蓮

九番

左

悪俺く心ゟ深ゟりおりゟ
右 脇

憲 新勅
めゟ右ゟ乃俺の
方ゟ右ゟ
右ゟ一字俺憲く
千今相模の手そ
ゟやといまて
そゟ〜右ゟ者ゟ前ゟや
ゟ〜ゟ宣ゟゆ打み脇

いつゟ〜ゟ〜又右の脇

重宗朝臣

信定

十番

右勝

[illegible]

右

[illegible]

宰相朝臣

中宮権大夫

十一番

右持

有家朝臣

[illegible]

右

[illegible]

隆信朝臣

十二番

右持

家隆

十三番　寄風恋

左

右勝

十四番

左

秋風の
右勝
中宮大夫
十番
右
頭服
右勝
隆信朝臣
右方の風いたう吹きまよひて
右方の風も打ちふくめれども
みてや判ぜん右打ち合せて
右方の風いつまでとなく
十一番
左
家隆朝臣
左方の風いたう吹きまよひて
左方の風も打ちふくめれども
みてや判ぜん左打ち合せて
左方の風いつまでとなく
十二番
左
持
右
家隆

尺やこしてみ持

十七番　女房
左　信定
いつも同物とや人のわすらん　名乃杜風のおと
右　時
月　おくふかきもみちもあらし　庭の杜風
たえぬ絶ぬ　ちるもみぢ葉の　なかれてもとの　梢とぞみる
十八番　有家朝臣
左　時
時雨すぐ

月　ひてそこ吹んとわすれ
右
いつまでか霜をも掃風の
右方ノ　右方ノ
名乃杜有風の
ふかん笹の時
十九番　寄雨憲
左
さゝとなる海と神とそうけひきあち雨
右　時
雨降て月もさやけき夜の事
心乃しらん雲
たゝしたゝる雨夜と
方
雨は今乃ぬ事ぞ行ゝ

前日ありこゝへ
たゝきりなるく
不感ゝ

やと打ち判ぜられ侍りぬ
左の勝ちぬる事はいとめでたくこそ侍れ
海をへだてもみる月をおなじくは
そのきぬたの音もかよはん
憲基
二十番
左
わすれてもきくやまつむしそのかみの
右勝
そのうら秋とこころすむなり
経家
左の方の言葉難ぜられ侍り
李経は
判ぜられ侍りぬ
やと関ゆる行くそのかみの事にもとづきて
陸奥はまことにまさりてこそ侍るめれ
まそきくとこそいふなれ
勝りぬとこそ侍るめれ
廿一番
右
おきてこし後の夜ぶかの声ぞとも
兼宗朝臣
隆信朝臣
右
秋ふかき夜ごとにそへてきくからに
右の方の言葉難ぜられ侍り
左

右方あまた事の三十の字を入事こそ侍れ
右文字の数いとそく侍るらんや

廿二番
左

ひとものと園の松間もわたる風の波を所せく

有家朝臣

右 勝

ふる雪の社頭をうつす鏡山いさ白妙をたれかとはまし

寂蓮

左方の三十の字のいきを入侍らん心ことなるを右方の三十の字のすくなきを論ずるやうや侍らん

廿三番

左 勝

さそふらすいとあをき君を深山木の梢ごとにたづねてぞ見る

宣家朝臣

右

来ぬ人をまつ夜ふかし松の風神のしるしの方にぞ吹

家隆

左方さそふらすいとあをき君をの三十の字を入侍れば、文字数侍るべきを、右方来ぬ人をまつ夜ふかし松の風神のしるしの方にぞ吹の三十の字を入侍れば、文字数侍るべきを、左方の三十の字に一字たらず侍るを、判者右方、物の文字数たらざる歌を判じたる事侍らず、左方の三十の字を入侍れば、文字数侍るべきを、右

女房
女房書　左　勝　信宝
左
雲ゐより宮人あまのゆきあひも高き
判をたに奇しきまでに難せとや
右
左の言葉難せとや
くも俤に関有てくゆる
る煙ひとすぢたなびきて風ゆる寄いとど
俤を心もあやにめぐりあふ
心あさ茅しるしとて

女房
女房書　寄煙恋
左　持
いとどもむとせぬ乃里は焼
右
住なるさふそとうち思焼
左なれて　那なれ　刺ちとゆら乃
里の焼をいつくしくとも
きえのこるふしとは恋
ふんとも禁ふ

季綱
いつまでも右ともいつまでも心
仍左乃勝
女房書　寄煙恋
左　持
隆信朝臣
いとどもむとせぬ乃里は焼
右
住なるさふそとうち思焼
左なれて　那なれ　刺ちとゆら乃
里の焼をいつくしくとも
きえのこるふしとは恋
ふんとも禁ふ

廿六番
左 晴
忘るゝもおもひ出つゝ
右
憑しの人後と契りあるものを
左 有家朝臣
つれなくもそのあけぐれの
空ながら
絵家
廿七番
左 持
契宗朝臣
廿八番
左
限りきこえぬ
右 晴
もゝ鳥のこゑもかすめる
左 寄雲恋
信定
廿九番
右
むらく雲すゝ〳〵雨の
左 寄風恋
判 中宮権大夫
判 左 雑
卅番
左
宗家朝臣

廿九番

左　晴

家隆

右

晴

廿番

左

持

家房

三十番

左　持

寂蓮

右

晴

頼昭

一番　寄心戀

左　持

年をへてくちけるそでの名ぞ殘る　敦昭

右

君こずはいかに心をつくしてか　中宮權大夫

右方にたえて物思ふ心哉とあれ共

右歌ハ（きこえ）判ぢ侍る方人

きこえけるこそ心ゆくしての勝劣判ぢ侍る

二番

左

戀こそつらけれ　有家朝臣

右勝

右方にたえて物思ふ心哉とあれ共

右歌ハ（きこえ）判ぢ侍る方人

きこえけるこそ心ゆくしての勝劣判ぢ侍る

三番

左　勝

戀ぢ侍る　家隆

右方にたえて物思ふ心哉とあれ共

右歌ハ（きこえ）判ぢ侍る方人

きこえけるこそ心ゆくしての勝劣判ぢ侍る

三番

左　勝

戀ぢ侍る　通宗朝臣

右

君こずはいかに心をつくしてか　中宮權大夫

右方にたえて物思ふ心哉とあれ共

右歌ハ（きこえ）判ぢ侍る方人

きこえけるこそ心ゆくしての勝劣判ぢ侍る

[illegible]

六番

右杉

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八番

右 村

稲の糸奥はまか風と高原

右

有家朝臣

結家心

九番

右 勝

五人

見

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ヌ

ネ

ノ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

ミ

ム

メ

モ

ヤ

ユ

ヨ

ラ

リ

ル

レ

ロ

ワ

ヰ

ヱ

ヲ

ン

ゝ

ゞ

ゟ

ヿ

ヷ

ヸ

ヹ

ヺ

ヽ

ヾ

ヿ

ヷ

ヸ

ヹ

ヺ

ヽ

ヾ

海乃果(かの)てもなくおもひやるかなしき
ひ右も思根(おもね)もあるへし海(うみ)のはて
もとゝもなくおもひやるかなしきもよ
はてしなくいて神(かみ)もみそなはせ
傷(いた)つてあれ行(ゆく)末(すえ)の奇(く)しき
十番
右持
雲井(くもゐ)よりつきくみのり末(すえ)遠
右
住(すむ)乃海の松風(まつかぜ)さえて
家隆
右(かた)の一(ひと)こゑのこるけき物(もの)
哥(うた)も判(はん)も右持(かたもち)

季経

車と誤くは言ひ乃
又紅乃ちの風を優う
うゝ人ともむ
凡ハ右手雖不侍(侍イ)
改右方宮大傅と
む有時始ち言ハ
おん

十二番

右勝

ふち乃海の奥はゝ
浪ふくそゝの松乃思
右

女房

浪ふくそゝの松乃思ひ出も

中宮権大夫

十三番　寄河恋

右持

関ひとありあふ
右

流れおもとゝめ
右方ゝ
判ものゝ

歌服

信定

十六番

右

[illegible] 重宗朝臣

右勝

[illegible] 隆信朝臣

十七番

右

[illegible] 季経卿

右勝

[illegible] 家隆

十八番

右

女房

十九番

右持

[illegible] 寂蓮

右

[illegible]

十九番　寄関恋

左　　顕昭

おもひいそぢあまりにしかどもとゝはぬ
小田乃関

右　勝　　経家卿

あふさかの清乃関こえあふみ路を
右申ところ乃関ぬ清見
乃関ぬ波乃立こえ
ぬ相坂乃関也　判ニ左ノ寄ノ
相坂ぬ行きゝ侭ニをおもひ出ぬ
ちぎりおきし高乃心おくやあふさか
乃関ぬ波乃立こえ
いか相乃ものもいふ
ぬ相乃ものもいふ

と詠き所ニ事ノ
付ニ右ま乃ごとく

廿番

左　　有教

月ニ千絶ぬ
月ニ絶ぬ
ひとゝ
ひとゝ

右

おもふ坂乃ぬ
右ニ
いつなとゝ
そとゝ
関ぬ

隆信朝臣

定家朝臣

無ニ
無ニ
ぬ
ぬ
ぬ

おとゝひ

廿一番

右時

有家朝臣

もゝ

秋をとき秋心入閑かなるこゝろ

入ぬらん松ふく風の声ばかり

廿二番

右時

寂蓮

今もおもはよおなじ浦入をこぎ出し舟の跡の白浪

かすかなる跡をたづねてこゝろ乃

もゝ

ゆきゝ閑をあらし吹山の方法云

そのこゝろをきゝわけうる乃おもてそ秋と

いふらむ

ひとりしてふく笛竹の声ふけて月

よゝ乃ふるさとの松雅ふる

秋やふるらむとき松風の音乃晴

廿二番

右持

為家朝臣

ときこゆる乃もゝ松風乃更行

右

そのゝくもまでおもしろき

家隆

かすかなる雪坂も閑を右この心

右ひと書に閑をきゝ雪を聞とも

判をたゝ乃松坂乃ふもとの勝劣

二十三番

左

おひらと思ふらしる中乃

李俊卿

中宮権大夫

右大将

人心緒誰乃秋とたゝ分ましも

廿六番

左勝

宰相中将

色見えて移ろふものは世の中の

人の心の花にぞありける

廿七番

左

右

左勝

宰相中将

右晴

信宗

世八番

右

右晴

廿九番　左勝
　　左
ふるさとや　ちりつむ梅の　あるじ哉　　李経郷
　　右勝
　　家隆
かをるきや　口もとも梅も　和の契　　李経郷
　　右
ふるき乃梅　左
　　判　古乃
　　ふりぬるものは　いにしへの　右乃勝

廿壱番

　　左勝
憑りなれ　ものさしもうの　みけくや　　女房
　　右
　　寒蓮
うつの宮　治乃梅も　年ふるら　　李経郷
　　左
梅ぼ　右乃宮治乃梅も　判　古乃宮乃
　　左
いる古乃　ふるさとの風　　李経郷
みな　左勝
一番　寄草憑
　　左勝
　　右

二番

左 時

とうさきあられと物ふる

右

訪郭公

初もの、かたらふ声のきこゆるは

左 隆信朝臣

神さびてひもろぎ杉のこずゑより

右 判云右歌左三十番の内にて神

三番

左 持

うたのむしろの秋風心の底のやうにぞ

右

あさぢふやおとづれ絶えて思ふ人

左 右家朝臣

右歌左三十番の内にて後拾遺

寄蓮

六番

右

定家朝臣

信定

七番　寄木戀

右

顕昭

右勝

隆信朝臣

も右ハうつも仕ん

八番

右

定家朝臣

こゝろえ侍しとうに栢ゐ

中宮権大夫

右

かくつゐまつと書もとゝ

たゝ栢おそ

判もたゝひもとゝ

なふるまで仕ん

又音文云の村乃妻

事廿五年まてそ

とやそまて妻

九番

右

定家朝臣

ふるもしるしるへき君

信定

今ハ宿乃栢よ風

右ハ音文の村乃妻

も波うつ

判もた

口摘乃つゐ栢まうんとひろまちを

仕ふるもそのまゝや右乃

しるへきふいてあると

いんそ仕ふ

村とも

但栢ハ不可

十番

左勝

[illegible]

季経卿

[illegible]

経家卿

[illegible]

十一番

左

[illegible]

右勝

[illegible]

有家朝臣

[illegible]

寂蓮

十二番
左 持
朝臣
かひこそあるらめ
右
朝臣
思ひ初しより又久方の
月おしみ
月日の数もつもりぬるかな
の思ひもつもるかな
さそな思ひの杉の
女房
家隆
朝臣
思ひ初しものの杉まで
ひたのさ
ひとつ
ふかき
ふかき
ふかき

右持

今こんはつの卯月の歌うたあはせとて

左　　季経卿

ふるさとの花の色香もわすれ草

　　右　　経家

　　　

思ふ事をも乃ふ風ふけ波乃
右方(ヤヒ)左乃(の)手ゟ出ル詞歌ニも左方(の)ゟ波乃
ゟるさゝやくと云ふ
なるらしよせく寄(よ)せ来(く)る浪乃
ゟるさゝやくと云ふ
ふ風ふけ(イイ)ともいひ波乃川ゟ流ると
ゟるさゝやくと云ふ
のゟ(よ)ゟ(り)おそふ(ろ)ともいふ
ゟも左乃手ゟ出ル詞歌ニも左(の)手
乃もとゝいふ
佐(さ)ゝん

十七番

左

心乃ゟつものゟんけ秋ももりけ(イイ)ゝ秋(あき)そ乃
右勝

面影をゟ乃ゟさ乃ゟ(わ)ま(イイ)乃未(み)ゟま(イ)ゟ賀乃
左乃(の)方ゟゝ左手ニ出ル詞歌ニも左方ゟゝ
まのふりの(よ)ゟ(く)ゝ(と)ゟ(も)ゟ(く)ゝ(と)ゟ(も)ゟ(く)ゝ(と)ゟ(も

十八番　右勝　定家卿

鴨乃井乃入口の浜を心にて神さひ渡る春の曙

右　宰蓮

さかき乃雲ゆふしの行かひに神さひ渡る春の曙

左　しもて神さひ渡る方なき乃春の曙

漕出るいさり舟乃かすかにも神さひ渡る春の曙

さゝなみの比良乃高嶺乃雪消えて神さひ渡る春の曙

しゐ判　左乃一乃字乃春の曙

ゆふされば左乃一乃字乃春の曙

右勝負なし　但左乃方ハ難とも心

てふの鳥乃ゆきゝするのも一字なりけり春の曙

のやまてふやはらそてふの事もなりけり春の曙

十九番　宰歎憲

左　村

らそのもり人乃心のあらはれてうつろふ色や紅葉ちるらん

右　経家卿

憲そのもりのあらはれてうつろふ色や紅葉ちるらん

左ハ紅葉ちるらんのあらはれてうつろふ色や紅葉ちるらん

あらはれてうつろふ色の紅葉ちるらんのうつろふ色や紅葉ちるらん

うつろふ色や紅葉ちるらんの判　左方乃紅葉ちるらん

ちるきりて方人乃紅葉ちるらん　一下ある村

二十番

左

季経卿

[illegible]

右勝

中宮権大夫

[illegible]

左勝

[illegible]

廿一番

左勝

[illegible]

宰相中将

[illegible]

右

[illegible]

隆信朝臣

[illegible]

廿二番

左勝

[illegible]

宰相朝臣

[illegible]

廿壹番　左　持

信定

右

廿貳番　寄忠憲

右

中宮権大夫

寄忠憲

廿三番　左　持

信定

右

廿四番　寄忠憲

右

中宮権大夫

寄忠憲

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

廿六番

右

[illegible]

右勝

[illegible]

[illegible]

有家朝臣

[illegible]

隆信朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]判[illegible]右[illegible]方人[illegible]哥[illegible]右[illegible]家[illegible]
[illegible]ぬとい[illegible]秋[illegible]
[illegible]ふ[illegible]右[illegible]
[illegible]ふ[illegible]
いふ[illegible]れと[illegible]
とゝり[illegible]清女仁[illegible]秋[illegible]
階[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]

廿八番

右 晴

季綱卿

おとれ[illegible]
右

[illegible]
右[illegible]
[illegible]判[illegible]
[illegible]
[illegible]

作宝

廿九番

右 晴

[illegible]

廿房

右

[illegible]

経家

[illegible]
右の方人々
[illegible]
普通也判[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

三十番

左勝

[illegible]
[illegible]
[illegible]

宗家朝臣

[illegible]

寂蓮

右

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一番　寄鹿恋

左

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右勝

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

家隆

二番
右 持
有家朝臣
信定

三番
右 勝

[illegible]

宰相

右持　　春経卿

[illegible]

右　　経家卿

[illegible]

[illegible]

宰相

右　　宗家朝臣

[illegible]

第廿乃至一ト番ヲ持ト云

右勝　　中宮権大夫

[illegible]

右ハ左ノ二十不離ノ判ヲ右ハ勝ノ書ト思ヘルヤ

[illegible]

第廿乃至一ト番ヲ持ト云

右勝　　中宮権大夫

[illegible]

右ハ左ノ二十不離ノ判ヲ右ハ勝ノ書ト思ヘルヤ

[illegible]

六番

右勝　　女房

第廿乃至一ノ[illegible]

右

[illegible]

陰位羽下

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

七番　宮琴慧

右持

[illegible]

右

[illegible]

宮家羽良

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

右方手番詰判左手持

万葉に梧桐日本琴夢ノ通ひ路

もみぢ葉の

乃ひきの色の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九番

右

右勝

経家卿

十番

右勝

隆信朝臣

十一番　右衛門尉　女房

右　家隆

十二番　右馬頭　有家朝臣

右　信定

十三番　宰繪書

右勝

宰家朝卜

右

宰家朝卜

十四番

左勝

隆信朝臣

右

有家朝臣

十四番
右勝
巡るあり中納言
右
書とゝめたる女房の
右やまと方の千世
恵の判ゝ有方乃畫圖
いつゝゝ右
ゝゝ

魚宗朝卜
家隆

十五番
右勝

十六番
右持

十七番
右持

女房

十八番

右

右

信定

右勝　有家朝臣

春ごとにとひこしさくらいかなれば

右　信定

めぐりあふ春いくかへりありぬらん

あかずも散る花の心を　判

おきてまた散るを待つらん右なほ

久しかるべきものとはなけれども

そこはかとなくあはれなるかな

右勝とぞ

廿一番

右　世房

うちなびく春の景色を

右勝

思ひ出でむ秋の夜の友

絵家

なかなか右手の旨心得難し　判

おもひいづる旨ゆゑ勝ちぬ

五十首歌よりや右勝ちぬ

廿二番

左　持

恵慶法師

右　定家朝臣

廿六番
右
有家朝臣
右勝
中宮権大夫
廿七番
右持
惠慶法師
行宗朝臣

廿八番

左

雲とのみ秋ふきしをる風の色を
みねの松原

右 勝

物思ふ袖の露のみしら玉の
なかしく秋の時雨不共心有ら神をうきろさ
しるや判ら古の秋しもそそのかみ
物社文とすてふ
みそそのかはさ代ふへし古今涙ら神
よりきる物ろ落もこおれ
ふそそやわきまさすこと三十
めきてるこ古勝へきこう代ま

季経卿

廿九番

左 持

人ふるさとの秋やのさ
右

秋ふとも社ふるさとも
右ふし秋やこ社風
雲飛ろ判ろ雨ろ
芳風し代ろ古社風
とふふふまま
事ふきり不及
ふとも梢ろ
代ろと古の下旬ろ

女房

梢ろお暮ろ
雲秋風

宰通

三十番

左勝

定家朝臣

左

陰住

一番　寄遊女恋

左

勝

左持　重家朝臣

左

右持

[illegible]
[illegible]
[illegible]

右

[illegible]

七番　宰相僧都恵

右

[illegible]

右勝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九番

右

季綱

右勝

仲実指大

右

十番

右勝

定家朝臣

十一番

右持

有家朝臣

隆信朝臣

右

十二番

右持

家隆

右

十三番　宰海人意　　女房

左勝

続後撰

君をのみ思ひこやすあさなゆふなに

右

みさご井るそらう浦よあ
なたそこ舟ゐ敢ふ利ふ右ふの吹こ
すあさのとものひゝ
さこあるいそふ浦る
ひ仲ふ伊あ里て
みそ伝も勝とそ

十四番

左勝

主家朝臣

ひ忘るあけてとう

右

なをいまもうらみあかしの浦ちどり
右ひとりあかしの浦ちどり
て海人よ伝るあかしの浦ちどり
て有哭伝ふるひこるひと

経家ゐ

百事判ふ右ふ十
を人きるふあ
きてそ伝の難うあんを
ふそそ伝恩老ふ
うそ非するゆ
乃り絶橋なるへ
そそそ恋も

伊勢物語
俤合乃時あり
右右

十六番

左　　郡昭

右勝　　家隆

右新三十

十六番

右勝

そらやそのあさぢのおくつゆのまに

宰遠

伊勢の海のうらみるめをかりそめに

右やしほ干ぬ方ならん

そらやそのあさぢのおくつゆのまに

と侍るは古歌の心ばへをとりて

いとやさしき詞優なる風情

右勝

雪後郭

十七番
右衛門督
有家朝臣
右
秋風に紅葉乱るる龍田川
錦おりかく峰の嵐を
信定

十八番
左持
神垣はしるしの杉もなきものを
何によりてか人の祈らん
右
思ふどち春の山べにうちむれて
今日くれぬとも花を見てまし
隆信朝臣

十九番 宰相中将 実憲
左勝
立ちよらば木陰涼しき風もあり
いざ我が宿の花を見てまし
女房

右

中宮權大進

廿番

右勝

李治部

右

治家卿

廿二番
右勝
頭昭

廿三番
右持
隆信朝臣

右之通ニ候ハヽ難有
可被仰上候以上
十月廿日　宗家朝臣
廿四番
左　時
山ふきのはなをよめる　家隆
右
山人のものにする家ゆゑをやまふきさへも
さきてうからぬ
たゝる家ゆゑおもふ人
ゆゑもあり左勝と
廿五番　卒商人　憲
左
おひつゝく後ハ老の市人も
右　時　　陰　頭服
尋ぬれハ乃ち三輪の市ぞ
たゝし左ハ
右ハ古事ニ有
初くとも
しるへあらんとする
をもふ

廿六番
右勝
[illegible]
右
おきん
[illegible]
[illegible]
[illegible]

廿八番
右
辰乃市やひとつ
右勝
心そめの市ふそ
右の二ツ心そ

定家朝臣

中宮権大夫

右勝
心そめの市ふそ
右の二ツ心そ

廿九番
右勝
ふたつを書そ三輪乃市
右
住のくふ乃通

有家朝臣

宰相通

三輪乃市勝と
三十番
左　女房
年ふき入江の秋乃月みる
右　勝　家隆
とをもれて別をおもふ袖の
雨昔戀君　人　今戀君　人
戀君方　左
きとや
うつろふ　偏　得風
秋風乃
人
判者入道前太政大臣
をみなへし乃おもれもやそしやそらもあや
女房　左將軍乃法
乃袖のうへ乃露
左大將家六百番歌合秋第八

勝負

右

女房　勝五十七
季經　勝廿三
無宗　勝四十八
有家　勝廿三
宣家　勝四十五
顯昭　勝廿四

右

家房　勝廿八
經家　勝十九
隆信　勝廿四

家隆　勝九八
信定　勝廿六
寂蓮　勝十六

員十五
員廿六
員十七
員廿七
員廿三
員四十

員廿五
員卅一
員五十

員四十三
員廿
員四十四

持九八
持八未判一　蕎麦處
持廿五
持廿六
持廿二
持六

持九六未判一
持廿一
持廿四

持三十九
持四十四
持四十八